



B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)		備考
										H22	H23	H24	H25	H26	計画	実施	
										合計		0	0				

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)		備考	進捗状況	
										H26	H27	H28	H29	H30	計画	実施		着手済/全体	進捗度
C-1	計画・調査	一般	北九州市	直接	—	事業評価	中間事後評価	中間・事後評価	北九州市						50	16	完了	1/1	100%
										合計		50	16						

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
C-1	道路整備等による影響を評価し、事業に対する住民の理解増進を図ることにより、住民との協同によるまちづくりを円滑に進める。											

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

**I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況**  
 周辺の自然環境や都市環境を活かしながら、大学をはじめとする先端技術に関する教育・研究機関の集積と、良好な住宅地の供給を同時に行う「複合的なまちづくり」を目標として進めてきた結果、地区内と周辺地域の道路ネットワークが構築されたことや、自然環境と居住環境が調和した住宅地が形成されたことで、地区内人口が増加し、事業の効果が発現している。

II 定量的指標の達成状況	指標① (地区内人口)	最終目標値	3,549人	目標値と実績値に差が出た要因	四季の彩りを感じることでできる道の整備等自然との共生をコンセプトとしたまちづくりを進めたことや、幹線道路沿線に生活利便施設の立地が進んだことで、保留地の分譲も好調であり、住宅建設が急速に進み、目標値を上回る結果となった。
		最終実績値	4,878人		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			

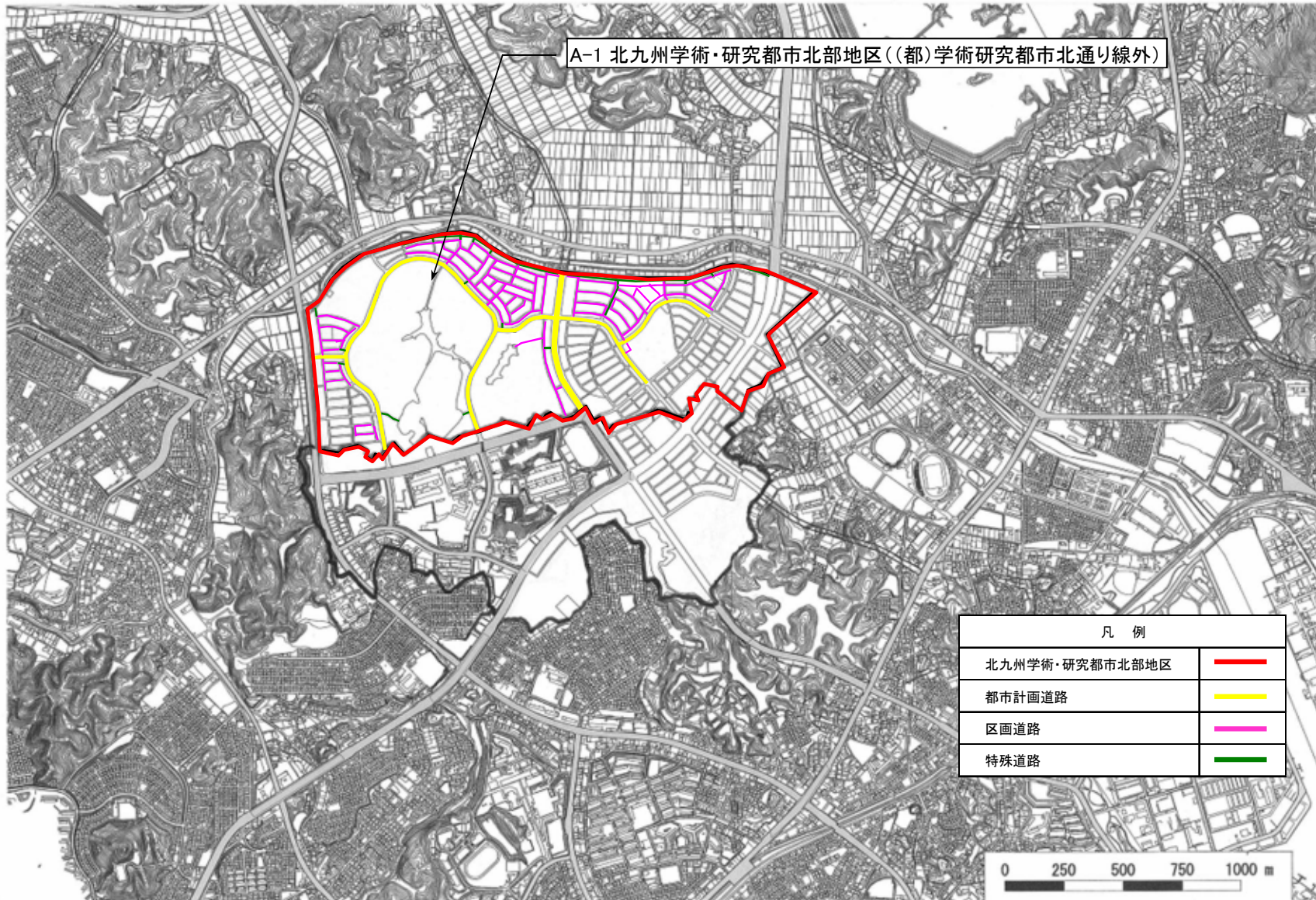
**III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)**

3. 特記事項 (今後の方針等)

今後も引き続き保留地分譲を進め、学術研究機関の集積とあわせて、自然環境・居住環境が調和した賑わいのあるまちづくりを進める。

(参考図面)

計画の名称	北九州学術・研究都市北部地区における賑わいのあるまちづくり		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成27年度 (2年間)	交付対象	北九州市





(参考図面)

計画の名称	北九州学術・研究都市北部地区における賑わいのあるまちづくり		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成27年度 (2年間)	交付対象	北九州市

